

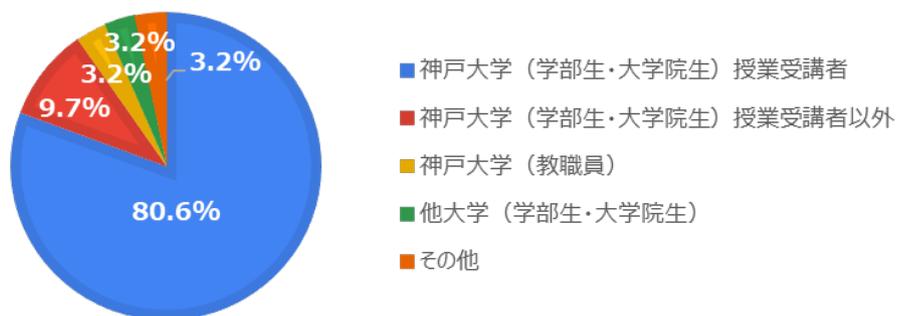
# インクルーシブキャンパス・デイズ 2025

## 第2回 トイレから多様な性・ジェンダーを考える

### 【アンケート結果】

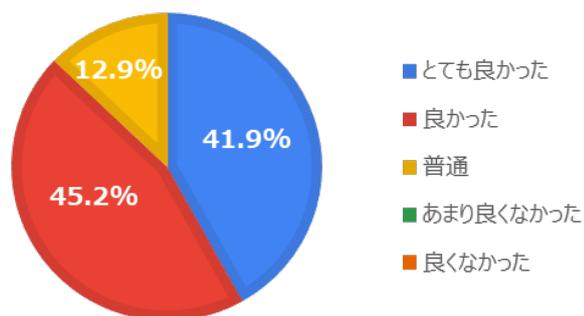
問1 あなた自身についてお聞かせください。 該当するものにチェックしてください。

◆ 31件の回答



問2 上映された映画についてお聞かせください。 該当するものをお選びください。

◆ 31件の回答



問3 映画の内容で印象に残ったことなど、ご意見・ご感想を自由にご記入ください。

◆ 16件の回答

- ・トイレだけでなく、更衣室でも差別をうけていて、しかもその差別の内容が自分が思っていたよりも酷くて驚きました。
- ・映画が作られた当時は現在よりもマイノリティに対する考えが厳しかったように思うのでやはり大変だったのだと思いました。
- ・トイレには「トイレを利用する性別を表すサイン」があると、トランスジェンダーの人々は利用しづらくなる。
- ・いつも何も考えずに利用していたトイレに対する考え方がガラリと変わり、いい経験になりました。ありがとうございました。
- ・2本目の映画の最後に「活動しよう！」みたいな呼びかけがあって、凄く欧米っぽいと感じた。日本では「無関係ではない」みたいな曖昧な表現で終わることがどんなテーマの作品、発表でも多いので新鮮で良かった。
- ・最初の動画はドキュメンタリーらしく、おかげで多様な視点や感覚を味わえることができた。二つ目

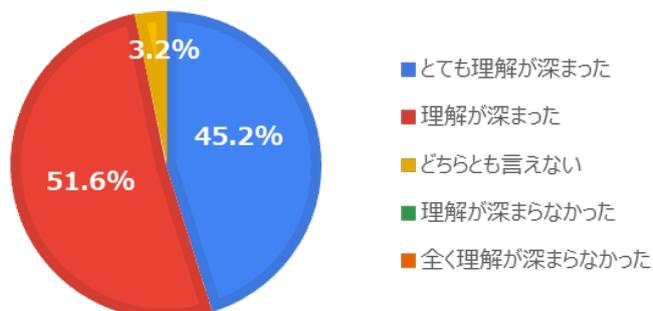
の動画はコメディでありながら、LGBTQの人々の日常困難を励ますような内容で面白かったです。

- ・さまざまな問題があることが分かった。
- ・トランスジェンダーの人々にとって男女別のトイレをなくすことよりも安全なトイレ空間の確保が求められていることに驚いた。また、確かに私も異性のトイレに入ることはかなり躊躇うので普段からこの環境下で生活するのはしんどいだろうなと感じた。
- ・トランスの人の気持ちがわからない人は自分の性と違うトイレに入ることを想像すればいい、というのがわかりやすかった
- ・トランスの人々がトイレに関してあんなにも悩んでいるということは知らなかったので、すごく驚いたし、自分がトランスの人々のことを何も考えられていなかったと感じた。性自認は人それぞれであり、自由であるから、トイレに関しても自由であるべきだと思う。それでもトランスの人々が苦しんでしまうのは多くの人が男女を分けて考えるのが当たり前になっていたり、見た目での判断をしてしまったりするからだと思う。多様性が尊重され始めている社会でもっとトランスの人々のために隅々なところまで考えられていく必要があると感じた。
- ・当事者でも第三者でも、本当はハッキリ言えたら良いなと思いつつ、なかなか難しいというのがリアルだなと感じました。
- ・トランスジェンダーなどのセクシャルマイノリティにあたり、どちらのトイレを使えば良いのか悩み困っている人が、個室のトイレがあれば使いやすいというところに気付かされましたし、納得しました。多くのトイレに関する差別の事例が出てきて、自分の中のトイレのジェンダーに関する理解がより深まったと思います。
- ・セクシャルマイノリティに該当する人は結構な人数いるという話をよく聞くが、自分はいままでそれらの人々に関わったことがないため、このような映画を通して理解を深めることが大切だと思った。
- ・トランスの方が非常に不自由な思いをしているというのがよくわかった。
- ・自分は普段当たり前に使っているトイレだが、それに苦しめられている人が少なくないということに改めて実感した。
- ・トイレに安心していける・いけないということが、学校・職場、社会参加、さらには健康をも左右するということがよくわかりました。

問4 ひびのさんの講演も含めて、トークセッションについてお聞かせください。

該当するものをお選びください。

◆ 31件の回答



問5 トークセッションで印象に残ったことなど、ご意見・ご感想を自由にご記入ください。

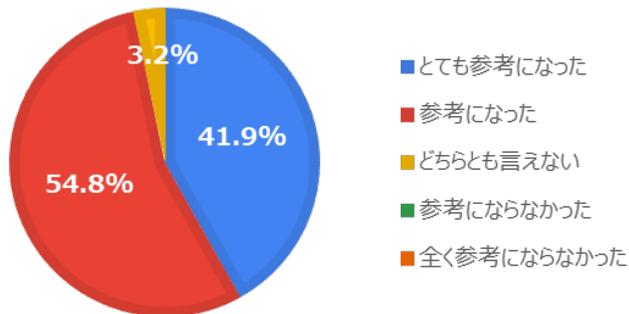
◆ 15 件の回答

- ・私は外性器によって分けられたらいいのではないのかと思っていたので、ひびのさんの考えを聞いて色々な考え方があるのだなと思いました。僕はそこまで犯罪とかが起こらない限りは誰がどのトイレを使ってもあまり何も思わないのですが人の考え方はそれぞれだと思うので大変だなと思いました。
- ・性別は本人に聞いてみないとわからない。
- ・オールジェンダートイレという概念はかえって現実的であるという話が面白かった。言われてみれば当たり前だが、理想論だと思っている人が多くいて、それを自明のものとして受容していた部分もあったのでちょっと反省したいと思った。
- ・ひびの先生のトークセッションは、学生と会話、考えさせるように話しているので、まるで相談している感じでした。
- ・問題が多岐にわたることが分かった
- ・トランスに関する抗議や映画祭が近年行われていることを知った。ジェンダーの多様性が認識されるまでたくさんの人々が苦しんできたのだろうと思った。
- ・「相手の性別は本人に聞かない限り分からない」という言葉を聞いて、すごく納得した。私は見た目ですべての人が男か女かを判断してしまうし、多くの人もそうだと思う。でもこの言葉を聞いてそのような考え方は良くないことなのだと分かった。自分の今の考え方は改めていきたいと思った。
- ・私は見た目が特に引っかかってしまう人間なのだと気づきました。
- ・トイレのジェンダーに関して、曖昧にされていること、現実と比較されたところが印象的でした。
- ・トランスジェンダー側の意見はもちろん理解できるが、現状の枠組み(男女別トイレなど)のほうが利益を享受できる・そのほうが良いと考える人も多くいるわけで、どうも議論が一方向的のように感じられた。
- ・当事者の方々の立場になってものを考えることの難しさを実感した。
- ・性別で分けることが必要なことなのかということは今分けられている多くのものでも考える必要があると感じました
- ・トークセッションが短かったので、もう少し長く聞きたかったです。また、質問に関してみんなで共有できたら他の人の意見や疑問などがわかり、より考えが深まると思うので可能であればビーフで共有していただけたら幸いです。
- ・長い間、広い範囲でトイレは基本的に2種類に分けられているので、突然性別を問わない形にすることに対して抵抗感を感じる人も多いと考えられる。私もそのような状況を想像してみると最初は少し違和感があるだろうと思う。ひびのさんもおっしゃっていたように、現段階では男女に加えて誰もが使えるものを設置するという3種類に分けておくのが良いと考えた。
- ・性自認・性的指向について、さまざまな性のあり方を生きる人と関わる中で変わることがある、という体験談が紹介されました。なるほどと思いつつ、変わったのか、自覚していなかったことに新たに気付いたのか、どちらなのだろうかと思いました。もちろん、いずれであっても性のあり方を決めるのは本人であり、その体験がそのまま尊重されるべきだと思います。このことが気になったのは、「性自認・性的指向は変わる」という点を、「それなら(正しいあり方に)変えられる」と歪曲し、他者からの強要・干渉を正当化する論拠に悪用されることを懸念したからです。かつて同性愛は精神疾患に分類され、転向療法と称した虐待的な行為が行われていました。現在も同様の認識を持つ

人は宗教右派をはじめ一定数はいますし、SOGIに限らず、家族、〇〇人等に「あるべき姿」「正常な姿」を想定し、外れるとみなした人を矯正したり排除することは、社会の中で広く見られます。改めて、決定の主体は誰なのかということに注視したいと思います。ひびのさんの話は難しいところがありました。人を排除する動きに対抗する言葉をいくつも聞くことができ、大変ありがたかったです。

問6 プログラム全体についてお聞かせください。 該当するものをお選びください。

◆ 31件の回答



問7 プログラム全体へのご意見・ご感想をご記入ください。

◆ 10件の回答

- ・ジェンダーに対して普段考えない視点をたくさん知ることができ、少しではあるが理解が深まった。
- ・毎回の講義を受講することで、社会におけるセクシュアリティに対する対応をより強調されるべきだと思った。
- ・個室化した共同トイレ化することに女性はどのように考えているのでしょうか？
- ・トランスのトイレに関してこれだけの時間考えさせられたことがなかった。それだけトランスにとって重要な問題なことを理解した。
- ・自分では考えたことがなかったジェンダーに対する考え方や感じ方を知ることができた。今後社会で生きていく上でジェンダーに対する見方を広い視点を持って考えていくことができると思う。また、あまり考えることのないジェンダーについて考える良い機会になった。
- ・トイレから性別考えるのが、特に身近な問題として捉えることができました。
- ・映画で多くの方の差別の経験を聞いて、自身の理解を深めてから、トークセッションでより詳しいことを聞いたので良かったと思います。
- ・社会のなかに配慮が不足している点があることに気づくことが出来た。
- ・新たな知見を得ることができました。
- ・トイレというとても身近な問題がテーマでした。それだけにいろいろな考えが交錯しました。正直に言うと、自分の中で揺らぐ部分はあります。理念的なことも、目の前にある具体的なことも、両方とも大事ですね。今回は柔軟に時間を延長してくださりありがとうございました。来年度も、一般も参加できるこのような企画をしていただけたら幸いです。

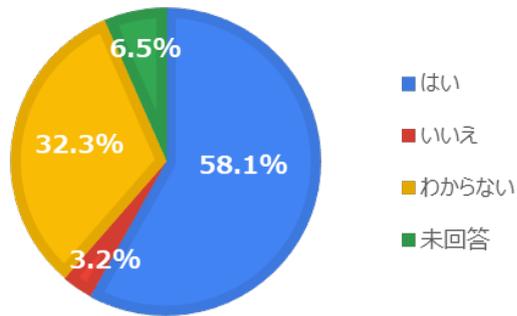
問8 本日のテーマであった「すべての人が安心して使えるトイレ」を踏まえて、神戸大学のトイレをどのようなトイレにすればよいと思いますか。

◆ 16件の回答

- ・性別にかかわらず使用できるトイレを設置することは、基本的人権の側面から不可欠だと思いました。
- ・とりあえず和式便所を全て洋式にして欲しいです。
- ・利用する性別を問わない個別トイレをさらに導入するべきであるとする。
- ・男女共同、もしくはジェンダーレスのトイレをいくつか設置するべきだと思います。男女で分けてあるトイレを好む人もいると思うので、全てではなく、ある割合だけ変えるのがベストだと思います。
- ・出入り口が2つある全室個室のオールジェンダートイレが良いのではないかと。個人的には用を足せば何でもいいので性別で分けられたトイレとオールジェンダートイレを両方残す必要があると自分では感じないが、必要な人はいると知っているので国際基督教大学の例が凄く良いと思う。
- ・まずは看板を変えたほうが良いと感じます。そうすれば、トランスジェンダーの皆さんが心配なく使えると思います。
- ・トイレのマークを女性のスカートマークや色の違いをなくす。障害者用などの男女問わず入りやすいトイレの数を増やす。
- ・今までの男女別のトイレは残すべきだと思うが、男女共用のトイレも男女別のトイレと同じように作るべきだと思う。
- ・今の男女別トイレに加えて、性別指定なしのトイレもどんどん増えていくと良いと思います。
- ・今の男性用、女性用トイレに加えて個室のみのジェンダーレストイレを設置してみるのが良いと思います。
- ・誰でもトイレなどを増やしたらよいのではないかと。
- ・学生や教職員の性に対する理解を深めて、差別がない空気感を作ることができないかぎり、いくらトイレに工夫をしても何かしらの問題が発生すると思った。
- ・場所や数の問題があるが共用でもよいと感じた
- ・講義にあったように、個室のトイレを使ってほしいです。全部のトイレを対象にすることは難しいので、棟ごとに1箇所(男性用または女性用)を改修することを徐々に進めていくなど、方法は工夫しつつ進めていければよいと思います。
- ・男女に加えて誰もが使えるものをつくると、3つ目のタイプには入りづらくなってしまわないかと考えた。現在の形から変更するならば、講義中に出てきた京大の寮のような形にするのが良いと思う。
- ・答えるのが難しいですが、個室化かなと思いました。

問9 今後、本日のような多様な性・ジェンダーのイベントを企画したら参加したいと思いますか。  
該当するものをお選びください。

◆ 29 件の回答



問10 今後、イベントで取り上げてほしい内容があればご記入ください。

◆ 3 件の回答

- ・ろうのお話もありましたが、自分自身が指文字を習得しているので、手話について知りたいです。
- ・トランスジェンダー以外のセクシャルマイノリティの話もして欲しいです。
- ・性的マイノリティのメンタルヘルス、自殺

問11 任意（以下、個人情報を神戸大学 ICHC センタージェンダー平等推進部門の担当者に提供することになります。）

今後、多様な性・ジェンダーに関するイベントのお知らせを希望しますか？

◆ 26 件の回答

